

## 諏訪湖流入河川水量調査(中間報告)

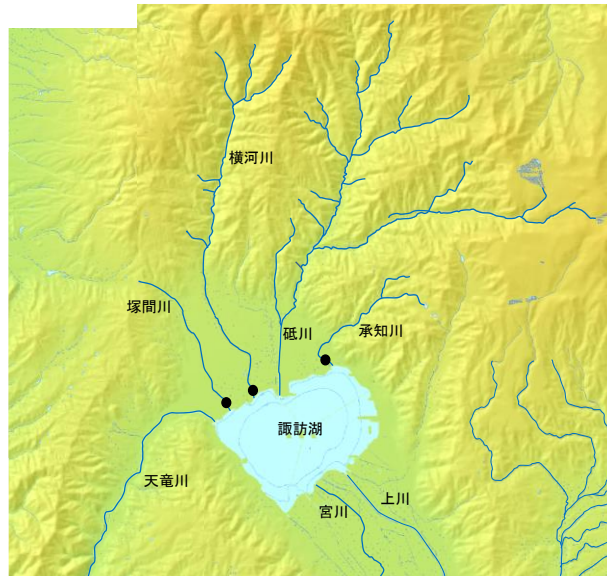
環境保全研究所

## 1 調査目的

諏訪湖流入河川の水量を把握することにより、諏訪湖への流入汚濁負荷量を解明し、水質保全対策に資するとともに、諏訪湖の水の流れを把握することで、貧酸素水塊の挙動に係る調査研究に繋げる。

## 2 調査方法

河川の河口付近に水位計を設置し連続データを取得する。  
別に水深と流量の関係を調べることにより、流量の連続データを計算する。



● 水位計設置場所

本地図は、カシミール3Dで作成

図1 測定地点

## 3 調査結果

水位の測定は、2018年11月6日から開始した。このうち、気象庁の諏訪特別地域気象観測所で降水を記録した際の降水量と水深のグラフを作成した。

- ・塚間川は、増水が観測された。特に降水の多かった12/4には、降雨後半日以上増水した。
- ・横河川は、水深の変動が少なかった。
- ・承知川は、増水が観測された。特に降水の多かった12/4には、降雨後半日以上増水した。

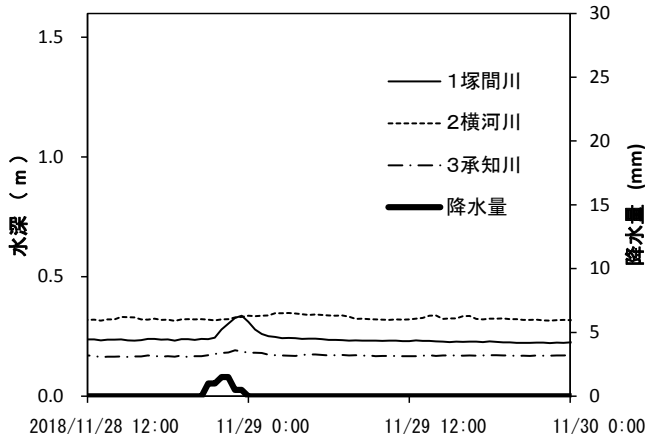


図2 降水量と水深 (2018/11/28~11/30)

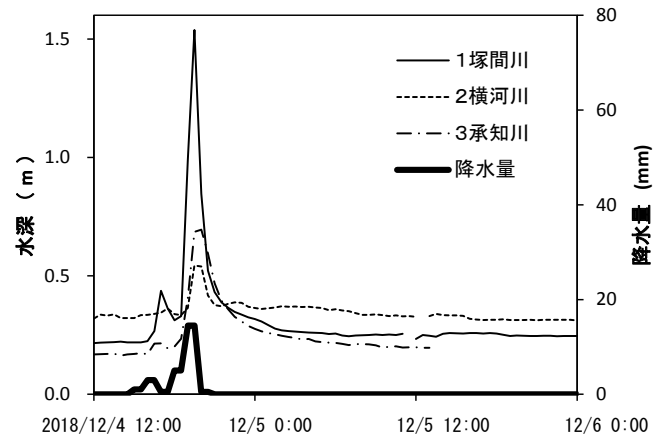


図3 降水量と水深 (2018/12/4~12/6)

## 4 今後の課題

河川断面や水温の把握、水位と流量の関係グラフの作成